

「サイレントCM『札幌』コンペティション」受賞作の発表について

7月から作品を募集した「サイレントCM『札幌』コンペティション」の受賞作が、このほど決定しました。

「サイレントCM」とは、札幌市が新たなジャンルとして提案する、実写、CG（コンピューターグラフィックス）、アニメーション、モーショングラフィックス（従来のグラフィックデザインに動きを加えたもの）など、30秒間の無音声映像。

このコンペティションは、まったく新たな側面からシティPRを展開するため、国内外のアーティストが札幌のイメージを表現した、斬新な映像作品の応募を期待して開催したものです。

また、世界中のアーティストから注目を集めるコンペティションとなるよう、応募登録、作品投稿等をウェブ上で展開。その結果、21作品（うち2作品は海外からの応募）が寄せられ、2作品が準グランプリを、3作品が入選を受賞しました。

1 受賞作

- (1) 準グランプリ（2作品） 賞状および賞金50万円
 - ・「ドリームランダーズ」 イリエアキヒコ（いりえ・あきひこ）氏（兵庫県在住）
 - ・「Experience of Sapporo」petra krizan（ペトラ・クリザン）氏（クロアチア在住）
- (2) 入選（3作品） 賞状のみ
 - ・「The half of Sapporo」佐伯和憲（さいき・かずのり）氏（東京都在住）
 - ・「sapporo1sec」藤原聖士（ふじわら・せいじ）氏（北海道在住）
 - ・「また逢いたくなる札幌」篠田安世（しのだ・やすよ）氏（千葉県在住）

2 審査の経過

審査は、映画をはじめ、CM、ミュージッククリップなど幅広い映像ジャンルを手掛けている中野裕之氏に依頼した。審査の結果、応募21作品から最終審査8作品を選定、この中から準グランプリ2作品と入選3作品が選ばれた。

グランプリについては「応募全作品について、30秒のCMとして捉えたとき、無修正でオンエアできるクオリティーに至っていない」との判断から、今回は「受賞作品該当なし」という結果となった。

準グランプリ作品には、四季の札幌の観光地を背景に粘土人形を使ったアニメーション（クレイアニメ）を駆使した「ドリームランダーズ」、未知の土地を訪れる期待感や感動をモーショングラフィックで表現した「Experience of Sapporo」の2作品が選ばれた。

また、選考の過程で、準グランプリに次いでレベルの高い3作品を「入選」とすることとした。

なお、グランプリ作品を放映する予定であったJR山手線トレインチャンネルでは、準グランプリ作品、入選作品を中野氏に依頼して40秒間の映像に編集したものを放映することとした。

3 受賞作品の活用

(1) J R山手線トレインチャンネルでの放映

平成17年11月14日(月)から27日(日)まで、中野氏に依頼して受賞5作品を編集したものを放映し、札幌をPRする。

(2) サイレントCM「札幌」コンペティション実行委員会事務局ウェブサイトでの配信

平成17年11月10日(木)から平成18年3月31日(金)まで、(株)デザイントープのウェブサイト(<http://www.designtope.net/>)で受賞5作品を配信し、紹介する。

(3) 携帯電話(NTTドコモ)での動画配信

平成17年12月1日(木)から平成18年3月31日(金)まで、受賞5作品を紹介するとともに札幌をPRする。

(4) 観光プロモーションにおけるサイレントCMの活用

このコンペそのものをシティPRに結び付ける手法として、10月に、お台場パレットプラザで行われた観光集客イベント「さっぽろ発・おいしさ三昧」(東京事務所主催)で、最終選考ノミネート作品(8作品)を先行上映し、来場者の高い関心を引いた。

今後、観光プロモーションの重要なツールとして、山手線トレインチャンネルなど大掛かりなメディアでの露出を含め、観光セミナーやシティPRキャンペーンイベントなどでの積極的な活用をしていく予定。

問い合わせ先

観光文化局観光部観光企画課誘致宣伝担当 浅村・藤井

電話 211-2376